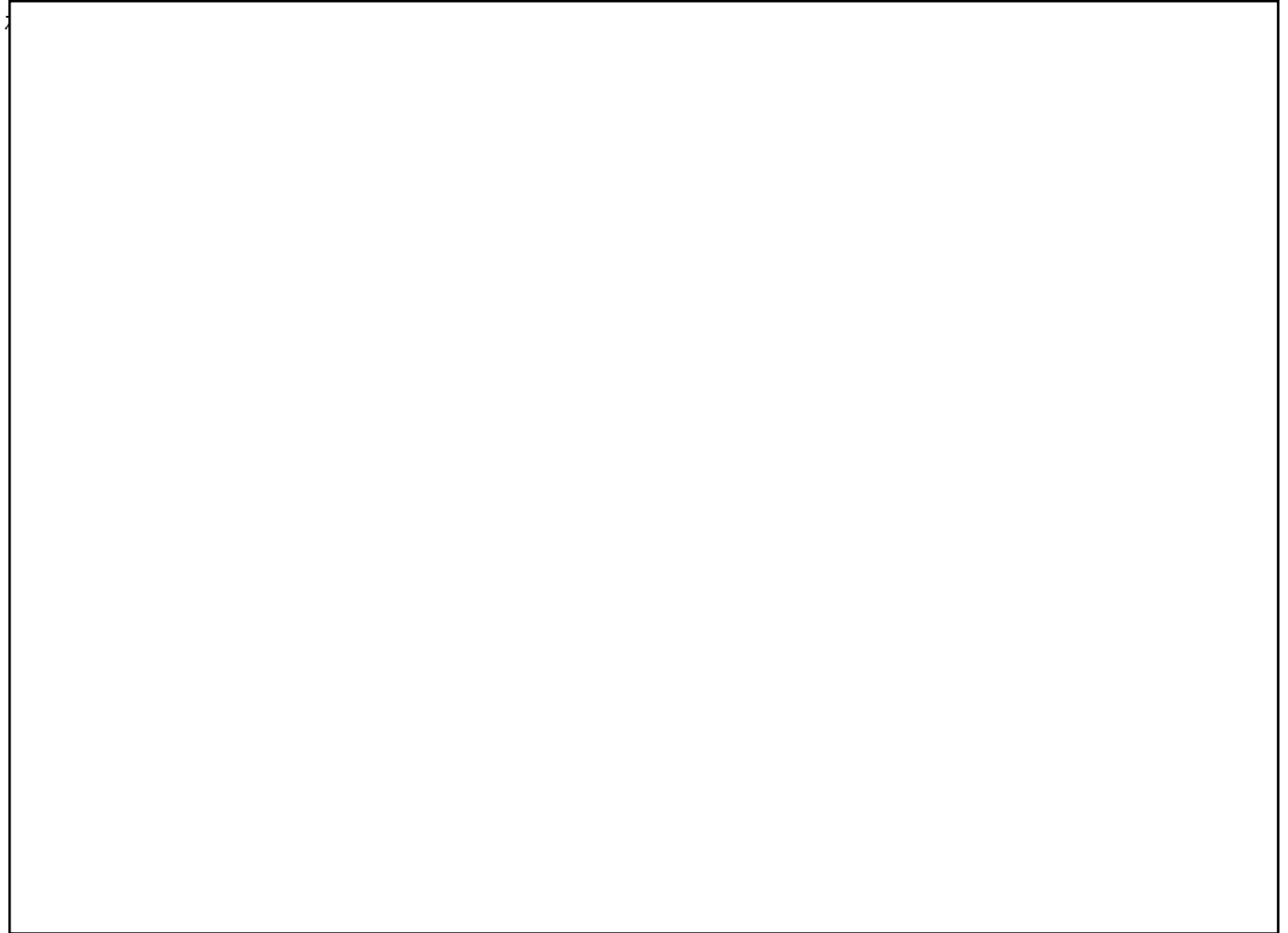


死生学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目： 英語

試験時間：（ 90 ）分

第1問



出題意図

日本における一般的キリスト教理解に関する上記の内容を理解しつつ、アカデミックな水準の英語を厳密に読み解き、理解する力を問う。

第2問

模範解答

その著作のなかでキューブラー＝ロスは、死にゆく患者が、死にゆくことに対処する際に予見可能な一連の反応を体験すると主張した。

キューブラー＝ロスの著作は、個々人が死にゆくプロセスにどのように対処するかに焦点を当てたものであったが、この著作はすぐに、人々が多様な喪失にどう反応するかをめぐる研究にも応用されていった。

キューブラー＝ロスの段階説が広く受容され人気をえた一方、非常に多くの批判もあった。その批判のいくつかは、方法論的な批判であった。キューブラー＝ロスの著作は印象に頼った記述である。調査された人数や結果の説明といった、方法論的な提示がない。また、この段階というものが記述的なものなのか規範的なものなのかについても、キューブラー＝ロスは不明瞭である。つまり、キューブラー＝ロスが、単純に一つのプロセスを記述しているだけなのか、それとも、セラピーの目標が個々人を死の受容にまで導くことだと主張しているのか、どちらなのか分からない。グリーフにおける段階という概念を支持してくれる経験的なエビデンスもほとんどない。最後に、この段階モデルは、個々人の差異を認識していない。その結果、グリーフとは、個人的・環境的・発達段階的・関係的・スピリチュアル的・文化的その他、個々人ごとの喪失に対する反応に影響を与えうる変数に左右されない普遍的なプロセスである、という主張になってしまっている。

出題意図

死の受容の五段階説に関する内容を理解しつつ、アカデミックな水準の英語を厳密に読み解き、理解する力を問う。

死生学 専攻 領域（博士前期/修士・博士後期・前後期共通）

試験科目： 専門

試験時間：（ 90 ）分

第1問

採点基準

- ① いきなりメディアで報じられている問題を指摘するのではなく、それに先立ち、近代化の中で土葬から火葬へと変化してきた過程を概観できているかどうか。
- ② イスラームにおける葬送の基本的理解と、日本側の多様な受容態勢について正確に論じられているかどうか。
- ③ ①と②に基づき、今後の見通しをそれぞれの変化、および相互影響的な変化に着目したうえで、自分が知る限りの宗教学や死生学の知見を応用して論理的かつ客観的に自身の考察を述べられているかどうか。

出題意図

葬送方法をめぐる基礎的な類型化に関して専門知識を問うとともに、それに基づいてその宗教学的課題・死生学的課題を、現状を踏まえたうえで考察できる思考力・判断力を問う。さらに、そのような思考を論理的に記述する表現力を問う。

第2問

採点基準

- ① 日本宗教史において二つの基軸をなす神道と仏教のあいだでの影響、とくに「神道」という自己理解の成立過程で仏教の影響を概観できているかどうか。
- ② 近代日本における事例として、「神」という神道の神々を表す概念がキリスト教の“God”の翻訳語として採用されたことにより意味やイメージが大きく変容した事例や、さらにはAI導入による新たな概念が生まれる可能性といった、古代や中世に限らない概念形成史を正確に論じられているかどうか。
- ③ ①と②に基づき、今後の見通しをそれぞれの変化、および相互影響的な変化に着目したうえで、自分が知る限りの宗教学や死生学の知見を応用して論理的かつ客観的に自身の考察を述べられているかどうか。

出題意図

宗教史における相互影響的な展開をめぐる基礎的な知識を問うとともに、それに基づいてその宗教学的課題・死生学的課題に関する思考力・判断力を問う。さらに、そのような思考を論理的に記述する表現力を問う。

第3問

採点基準

- ① 遺骨の学術的取り扱いをめぐる専門知識や社会状況を正しく有しているかどうか
- ② 研究倫理の専門知識を有しているかどうか、またその観点から、遺骨の取り扱いに関する問題を考察できているかどうか
- ③ ①と②に基づき、倫理的・死生学的な知見を交えつつ、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

遺骨の学術的位置づけに関する倫理的・人類学的な専門知識および研究倫理に関する専門知識を問うとともに、それに基づいて、その倫理的課題・死生学的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第4問

採点基準

- ① 人生会議に関する社会的・死生学的な専門知識と、自己決定・意思決定に関する生命倫理的・死生学的な専門知識を正しく有しているかどうか
- ② 生命倫理的な知識と出題文をもとに、「関係性のなかにある自律」がどのようなものかを推測できているかどうか
- ③ ①と②に基づき、倫理的・死生学的な知見を交えつつ、論理的かつ客観的に自身の考察を述べられているかどうか

出題意図

人生会議および日本における病者の意思決定に関する文章を読み、その社会的・倫理的な専門知識を問うとともに、それに基づいてその倫理的課題・死生学的課題を客観的な視点から考察できる思考力・判断力、およびその思考を論理的に記述する表現力を問う。

第5問

採点基準

- ① 自殺についての報道のあり方をめぐる昨今の模索について、事実に基づくかたよりのない知識や理解を正しく有しているかどうか
- ② 自殺企図をめぐる倫理の専門知識を有しているかどうか、またその観点から、自殺報道に関する問題を考察できているかどうか
- ③ ①と②に基づき、関連諸学の知見を交えつつ、根拠を明らかにし、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか

出題意図

近年、自殺企図者や依存症者、あるいは犯罪被害者などに配慮する報道のあり方が模索され、複数の団体からガイドラインが提示されている。また、ネットメディアの無配慮な振る舞いが自殺者を生むことさえある。まったく「傷つけない」報道は現実には困難だが、配慮に欠け有害と思われる報道を避けるためにはどのようなことが必要かを、弱者の視点に立って想像してみる力を問う。

第6問

採点基準

- ① 見舞いや寄り添い、さまざまな治療的ケアにともなう態度のありかたをめぐる多様な議論に目配りしており、それにもとづいた、思い込みやかたよった信念ではなく、事実に基づくかたよりのない知識や理解を正しく有しているかどうか
- ② 重篤な病を抱える患者へのケアをめぐる倫理の知識を有しているかどうか、またその観点から、患者や家族などとの関わり方を考察できているかどうか
- ③ ①と②に基づき、患者、家族、医療者、友人などの立場を明確に設定し、その立場が受ける制約を十分に考察して、関連諸学の知見を交えつつ、根拠を明らかにし、論理的かつ客観的に自分の考察を述べられているかどうか。

出題意図

スピリチュアルペインに対するケアの理論として広く支持されている「村田理論」について、評価をしつつも無批判に受容するのではなく批判的吟味を行うことができるかを確認する。村田理論について引用文で紹介することで、この理論についての最低限の知識がなくても回答できるが、この理論を正しく理解したうえで論じることができるかを見る。